



平成28年2月1日
社会福祉法人三心会
織笠保育園

暦の上では立春とはいえ、まだまだ冷え込みの厳しい時期。カゼなどをひかないように上手に重ね着をして、元気に冬を乗り切りたいですね。

脳にうれしい絵本の読み聞かせ

絵本の読み聞かせをしてもらうと、子どもの頭の中では、特に「うれしい」「かなしい」といった感情を司る「心の脳」ともよばれる大脳辺縁系という部分が活発に働いていると言われていて、心を育てるのに一役買っています。



子どもが字を読めるようになりました。自分で読ませた方がいいですか？



せがまれるうちは、読んであげてください。

字が読めることと、ストーリーが理解できることはまた別。また、視覚と聴覚、両方から刺激をうけたほうが、脳全体の発達に効果的だとも言われています。



同じ絵本を読んでも何度もせがまれるのですが・・・いろんな絵本を読ませた方がいいのでしょうか？



同じ本を読んでも大丈夫です。

子どもは何度も読んであげることによって言葉を覚えます。また、同じ絵本でも新しい発見をすることもあります。満足いけば自然と新しいものに関心がうつるので、子どもの気が済むまで何度も読んであげてください。



鬼より怖い？豆の誤飲・誤嚥

節分ということで、子どもたちの健康を祈って豆まきをするご家庭も多い時期ですが、同時に豆の誤嚥が増える時期でもあります。

なにより怖いのは呼吸に影響が出る事。豆類は気道に入ると膨らんで窒息しやすいのです。また他の異物と違って気管支内に入ると粘膜に炎症を起こして浮腫を起こすので、咳をしても外に出てきません。

特に小さな乳幼児のいるご家庭は注意が必要。健康を願うはずの豆まきが、目の前に転がってきた豆を赤ちゃんが誤って食べてしまうと



大惨事になります。3歳以下の子どもに豆類（ナッツなど）を与えないのが賢明です。

共有していますか？

子どものアレルギー情報

「ちょっとくらい、大丈夫かと思って」・・・そう言って、同居していないおじいちゃんおばあちゃんがアレルギーの子どもにお菓子などを与えて、アレルギー症状が出るケースがあるようです。かわいい孫にねだられたらついあげたくなるのもわかりますが、結果的にお互いつらい思いをすることに・・・

アレルギーの誤食事故は、情報共有を徹底していれば防げるものも多いです。家族と保育園だけでなくお友達のうちに遊びに行くとき、親戚の家に遊びに行くときなどには、「これは欲しがっても絶対あげないで」と事前に一言伝えておきましょう。

(アレルギー食品の一例)



岩手県は1月27日インフルエンザの流行注意報を発令しました。町内の保育園や学校でもインフルエンザが発症しているところも見受けられますのでご家庭でも手洗いうがい、十分な栄養や睡眠、マスク着用など予防につとめましょう。園では、今のところインフルエンザの報告はありません。なお、**家族が罹患した場合も園の方にお知らせください。**

1月の感染症情報

今月も感染症の報告はありませんでした。